

## 多賀城市災害対策本部からのお知らせ

平成23(2011)年8月1日(月)午前9時発表

| 多賀城市内の被害状況 |                |
|------------|----------------|
| ・死亡者       | 188名           |
| (内訳) 男性    | 113名           |
| 女性         | 75名            |
| ・行方不明者     | 3名             |
| ・避難者数      | 149名<br>(74世帯) |

### 菊地健次郎市長から

昨日で奈良県、岐阜県、三重県からの人的支援が終了することとなりました。

これまでたくさんのご支援をいただいた自治体職員の方々のおかげで、みなさんが、少しずつ地元に戻られるようにまで多賀城市も復旧してきております。

避難所に避難している方々も今月で大分少なくなってくると思われま

す。少しずつ元に戻って来てはいますが、がれきの撤去の問題など、まだまだやらなければならないこともたくさんあります。

本日付けで横浜市から職員1名が、来年3月31日まで多賀城市の職員として市民経済部生活環境課に配属となりました。

横浜市からは、来月1日付けでさらに1名が生活環境課に配属となる予定です。

先週の金曜日、土曜日に岐阜県と愛知県の各知事とお会いし、これまでちょうだいしたたくさんのお支援に対する御礼をいたしました。

岐阜県知事からは、「今回のご縁を大切にしながら、これからも何かあったらぜひ協力をしたい」との大変ありがたい、そして喜ばしいお言葉をちょうだいしました。

各部署にあっても、御支援をいただいた方々との縁(えにし)を大切にしていってほしいと思います。

昨日、櫻井充財務副大臣と市町村長との会合がありました。

櫻井副大臣からは、国の第三次補正については9月下旬頃に成立となるであろうとの説明がありました。

また、がれきの処理に関する請求書が6%の自治体からしか提出されていないので、早急に環境省へ提出するようとの説明もありました。

各市町村長からもたくさんのお質問が出されましたが、私からは、今後の対策として多賀城市では「多重防御」を検討しておりますので、仙台市の防潮堤を含めた国土交通省の考え方について質問を行ったところ、「1~2か月のうちに計画が出るので、早めに示したい」との回答がありました。

また、がれきの処理に対しては、100%国が面倒をみるといっておりますが、そのことについて確認したところ、櫻井副大臣からは、「特別地方交付税交付金で何とか頑張りたい」との回答がありました。

同席していた財務省の財務局長からは、「第二次補正に岩手、宮城、福島 の3県で4,000億円を計上しており、必ず12月と3月に出します」との説明がありましたが、「今回の新潟、福島の豪雨に対してその中から回される分もあるかもしれない」との説明もありました。

私からは、中小企業のグループ補助についても第三次補正に計上するようお願いをしてみました。

#### 市役所各部から

応急仮設住宅の申込状況や寄附金の状況などについては、ホームページの多賀城市災害情報にある「多賀城市における東日本大震災の被害状況」に詳しく掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

7月29日(金)に長崎屋跡地において「月の市」が開催されました。これからも毎週開催しますので、さらにPRしてまいります。

がれきの搬出について、多賀城インターチェンジ分は、臭いのするがれきをあと10日ぐらいで搬出できる運びとなりました。

あやめ園駐車場分については、家電のクズが多少残っていますが、先週でほぼ終了しました。

中央公園駐車場分については、今週から搬出し、8月中には大部分が終了する予定です。

社会福祉協議会が行う「生活復興支援資金」の貸付受付を先週から開始していますが、一週間で23件の申込がありました。

一方、生活援護資金の相談については、減少傾向にあります。

本日から八幡ポンプ場及び大代ポンプ場の災害復旧査定が行われます。

夏休み中の行事として、8月3日から2泊3日の日程で青森県五所川原市で行われる「たちねぶた」に、多賀城市内の児童、生徒及びその保護者が招待され、80人が参加します。

また、8月6日から1泊2日で秋田市の「竿灯祭り」に多賀城市内の児童、生徒及びその保護者が招待され、400人が参加します。

市長から報告があったとおり、先週の金曜日から土曜日にかけて市長が愛知県と岐阜県を訪問し、これまでいただいた数々の人的・物的支援に対する御礼を行ってまいりました。

愛知県では、旗に寄せ書きを作成しており、それを後日多賀城市に贈呈してくださるとのことでした。

また、岐阜県では、東日本大震災の復興支援キャンペーンを行っており、そのオープニングセレモニーで市長が挨拶を行いました。

これ以外にも復興のために様々な事業を行うこととしておりまして、10月には東日本の自治体の物産コーナーを設けることも予定しているとのことでした。

多賀城市に支援をしてくれた職員と話しをすることもできましたが、「復興した多賀城市の姿をぜひ改めて見に行きたい」という温かいメッセージも

ちょうだいしました。

水道水の放射能を測定したところ、仙南仙塩広域水道及び仙台分水とも放射能の値は不検出でした。

一方、浄水行程で発生する汚泥については、ヨウ素は不検出でしたが、セシウムが検出され、その値は65ベクレルでした。(基準値が8,000ベクレルですので問題はありません。)

7月28日(木)に第3回目の震災復興検討委員会が開催され、基本的方針について種々御意見をいただきました。

本日開催する震災復興本部会議において方針を固め、8月10日(水)午後3時からと午後7時からの2回、ホテルキャッスルプラザ多賀城で開催を予定している説明会において、市民のみなさまに説明することとしています。

市内で発見されたご遺体は、188名となりました。

鶴ヶ谷の仮設住宅から73歳の女性1名がめまいのため救急搬送されました。

8月3日(水)午後1時から市庁舎正面玄関前において「東日本大震災に係る自衛隊活動報告会」が開催されます。